

令和2年度 京都中小企業技術大賞 表彰式



受賞企業代表者

2020(令和2)年11月27日(金)、京都リサーチパークにて、京都府と京都産業21の主催による「令和2年度 京都中小企業技術大賞 表彰式」を開催しました。この賞は、技術開発を通じて京都産業の発展に貢献したと認められた中小企業とその技術者を顕彰するもので、今年で28年目となります。

今回を含め、受賞企業は186社を数え、受賞後に上場されたり、また他の顕彰制度で表彰されるケースも多く、府内企業の優秀な技術の発掘に貢献してきました。

今年度は、技術大賞を受賞した(株)大日本精機をはじめ6社が優秀技術賞、1社が特別技術賞を受賞されるとともに、各企業の技術者36名が優秀技術者賞を受賞されました。

表彰式では、まず山下晃正京都府副知事が挨拶。「コロナ禍と

いう時代の変わり目にあって企業が次のステップに上がっていくには技術力が不可欠であり、斬新なアイデアや技術を組み合わせることで次の時代を切り拓いてほしい。技術の改良には限界はなく、人間の叡智には限りがない。今回の受賞を機にさらに大きな技術開発の取り組みを進めていただきたい」と受賞企業を讃えました。次いで、村田恒夫京都産業21理事長は、「京都の企業は、伝統産業の匠の技や大学との連携など地域の資産を融合しながら発展してきており、その持続的な成長をしていくために技術革新が重要である。現在新型コロナウイルス感染症により先行きの見通せない厳しい状況が続いているが、受賞された技術により事業がますます発展されることを期待している」と激励の言葉を述べました。

表彰後、杉山進技術顕彰委員会委員長が審議経過を報告。「最近の傾向としてIT/IoT/AIを活用した先端的な技術も多く応募があり、優秀付けがたく大変悩ましい審議となった。その中で技術大賞には、医療業界はもちろん、社会的にも非常に大きく貢献する技術として『組織切片自動作製装置[AS-410M]』を最も高く評価し、(株)大日本精機を選出した」と講評しました。その後、受賞企業8社による受賞技術・製品のプレゼンテーションを実施。来賓の方々をはじめ来場者は熱心に聞き入っていました。



山下京都府副知事



村田京都産業21理事長

技術大賞受賞企業のコメント

株式会社大日本精機 代表取締役 杉原 正芳 氏

当社は長く半導体関連装置の受託生産を主事業としてきましたが、約30年前から医療用機器の製造にも事業を拡大。医療・医薬品合成や試験に関わる装置を手がけてきました。その中で、病理試験に用いる病理標本の作製を自動化できないかというご要望をいただいたのが、今回受賞した装置を開発するきっかけでした。

病理標本は、前処理、包埋、薄切(貼付)、染色の4工程を経て作製されます。薄切(貼付)工程以外はすでに自動化装置が普及していますが、薄切(貼付)工程は手作業で行われていました。当社は世界で初めてその工程の自動化装置の商品化に成功しました。

自動化によって、安定した品質で病理標本を作製できるようになり、検査の大幅な効率化が可能になります。臨床検査技師の負担を軽減するだけでなく、検査のスピードを上げ、早期の診断・治療に貢献できることが喜びです。すでに国内の製薬会社や分析センター、海外の病院などに納品していますが、今後は国内の病院にも普及させていきたいと考えています。今回、栄誉ある賞をいただいたことが、製品の信頼性や知名度を高め、販売促進の後押しになることも嬉しく思っています。



株式会社大日本精機 代表取締役 杉原正芳氏



株式会社大日本精機 受賞の様子



組織切片自動作製装置 AS-410M

令和2年度 京都中小企業技術大賞等受賞企業および優秀技術者賞受賞者

◆京都中小企業技術大賞(1社)

組織切片自動作製装置「AS-410M」 株式会社大日本精機(長岡京市) 代表取締役 杉原 正芳

◆京都中小企業優秀技術賞(6社)

工具とIoTの融合による「次世代作業トレーサビリティシステム」	京都機械工具株式会社(久御山町)	代表取締役社長 田中 滋
ダイレクトシールド構造ヒートインシュレータ	国産部品工業株式会社(綾部市)	代表取締役社長 伊藤 俊浩
大型環状織機による新組織の開発	有限会社綵巧(京都市)	代表取締役 室門 恒明
超高精細印刷「燦・エクセル・アート(印刷の8K)®」	株式会社サンエムカラー(京都市)	代表取締役会長兼社長 松井 勝美
Roll to IML容器製造技術および検査装置の開発	サンプラスチックス株式会社(精華町)	代表取締役社長 桃井 秀幸
粉体、軽比重物用異物除去装置	株式会社服部製作所(宇治市)	代表取締役 服部 勝洋

◆京都中小企業特別技術賞(1社)

丹後強燃糸を使用した丹後先染め着尺、風通帯 篠春織物株式会社(京丹後市) 代表取締役 篠村 雅弘

◆京都中小企業優秀技術者賞(36名)

(順不同、敬称略)

- 株式会社大日本精機：澤田 直孝、南 修博、山田 高広、嶋村 高巳、小澤 律郎
- 京都機械工具株式会社：大橋 成幸、平井 祐輔、佐藤 拓郎、芳本 悠未、名古 拓海
- 国産部品工業株式会社：寺崎 信夫、井上 浩貴、高橋 孝治、仲村 真也、井爪 英樹
- 有限会社綵巧：室門 耕一郎、竹島 日出喜、小幡 恭子、田中 さゆみ、福田 統夫
- 株式会社サンエムカラー：山根 亮一、大畑 政孝、川勝 浩平、大原 爽子、白石 文旭
- サンプラスチックス株式会社：浅野 翔、森田 誠、原 和志、前田 大知、松田 紘和
- 株式会社服部製作所：服部 善郎、松永 英俊、豊田 達也、松田 寛之、佐伯 紘平
- 篠春織物株式会社：篠村 雅弘



受賞企業によるプレゼンの様子



優秀技術者賞受賞者のみなさん



パネル展示の様子

●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 新産業推進部 新産業推進グループ TEL: 075-315-8677 E-mail: kensho@ki21.jp




Innovation for a Sustainable World

未来をはじめよう。

株式会社 SCREENホールディングス
www.screen.co.jp

